



我孫子市
Abiko city

令和4年7月15日
報道提供資料

うなぎで市内を盛り上げる ～土用の丑の日～我孫子とうなぎのパネル展 初開催

市では、7月23日の「土用の丑の日」にちなみ、かつて手賀沼でとれたうなぎにまつわる展示を、JR常磐線・成田線我孫子駅の南口階段の壁面パネルで開催しています。

江戸時代から昭和20年頃にかけて、手賀沼では食用のうなぎがとれました。手賀沼のうなぎは、味が良く評判で、江戸では高級品として珍重されていました。うなぎの産地として有名だった名残から、市内には今でも多くのうなぎ屋が店を構えています。

パネル展では、土用の丑の日に向けて手賀沼の歴史の一部を知ってもらうことを目的として、うなぎがとれた頃のエピソード、「うなぎ鎌」といった特殊な器具でうなぎをとる様子などを、写真を交えて紹介しています。

市の情報発信拠点である我孫子インフォメーションセンター(愛称:アビシルベ)では、時期を合わせて企画展「我孫子で食す うなぎ」を開催しています。

市内のうなぎ屋8店舗の魅力を紹介しており、観光アプリ「あびこ巡り」でもご覧になれます。会場では、店舗の地図や一覧も配布しています。土用の丑の日とうなぎ屋に迷った方は、ぜひ一度お立ち寄りください。

【企画展「我孫子で食す うなぎ」】

日時 7月23日(土)まで

9:00～18:00(アビシルベの開館時間と同じ)

場所 我孫子インフォメーションセンターアビシルベ
孫子市本町2丁目1番10号(我孫子駅徒歩1分)

問い合わせ 04-7100-0014



駅階段のパネル



「我孫子で食すうなぎ」

ポスター

【問い合わせ】
我孫子市企画総務部秘書広報課
あびこの魅力発信室 担当 深田・奈良
☎ 04-7185-2493